

# 麻布幼稚園だより 3月号

平成28年2月29日 港区立麻布幼稚園 園長 大島 美知代

## 「いよいよ、旅立ちの日！」

園長 大島 美知代

3学期に他校の研究発表会に参加しました。それぞれの学校で教職員が同じ目標に向かって、「目指す姿」をもち、それぞれの役目を担って教育活動を展開しています。研究とは何のために行うのか、というと、それはその学校の子どもの育成のためです。が、それだけではありません。同じ港区の子どもたちの育成のためです。同じ港区の幼、小、中学校の先生方が研究発表会に参加し、授業(保育)を見せてもらい、その後研究の内容や成果等を伺い、自校に持ち帰り、自分の教育活動に生かしたり、実践してみてもその内容を研究発表校に質問をしたり、といった相互の教育活動によき学びとなっていきます。

2月に参加した研究発表会である講師の先生の講演を聞き、「幼稚園も同じ、参考にしたい」と思ったことがありました。

今グローバル化が進み技術革新が激しい毎日。今の小学生が就職する頃には約65%は今ない仕事に就くであろう、と言われているそうです。2013年6月に出た「第2次教育振興計画」によると、これからの社会で生きる子どもたちには、下記の3つが重要である、と書かれているそうです。

**自立** (自分のことが自分でできる、自分であることが分かる)

**協働** (多様性を尊重し、共に支え合い、高め合うことができる)

**創造** (新たな価値を創造する。子どもたちが主体的に、能動的に学ぶ力となる)

この3つは幼稚園教育でも大切にしていることです。まず、「自立」しているか。自分の身の周りのことができているのか、何のためにこれをするか理解し、前向きにやっているのか、自分だけでなく、周囲の状況や相手の考えや気持ちを理解して行動しているのか、などです。自分が生きていく際の基本的な力と言えるでしょう。そして、次は「協働」。これは一緒に生きていく様々な人たちとよりよいコミュニケーションをとり、相手の考えも尊重したり、自分と違う考えを受け入れたり、グループ活動にも意欲的に取り組み、自分のよさを発揮することができたり、等の行動を意味します。最後は、「創造」。これは今まで身に付けた力を活用して自分で目当てを決め、自分で進んでいくことを意味します。自分で考え、判断して学ぶこと、能動的に取り組み、楽しく学ぶことがとても重要です。問題が起これば自分で解決し、失敗してもくじけずに取り組み、解決しようとする子になっていることを意味します。

さあ、「いよいよ、旅立ちの日！」が近付いてきました。それぞれの学年の目当てに向かって幼稚園は担任を中心に1年間の航海を続けてきました。その船は、行先不明の幽霊船ではない筈です。乗組員の幼児ではなく、船長だけが知っている大人中心の船でも困ります。宝の地図を乗組員一人ずつ手に持ち、宝を見付けるために航海をする冒険船を目指して航海してきました。子どもたちにとっての宝物をいっぱい見付ける航海にしていかななくてはなりません。3歳児はどんな育ちをしたでしょう？4歳児に進級する準備が整っていますか？4歳児はどうでしょう？今度の4月からは最高学年となります。いろいろな体験を積み重ねて出港準備はOKでしょうか？そして、5歳児は、3年間の本園の航海を終え、いよいよ新しいステージへ進みます。新しい環境、新しい登校経路、新しい道具、新しい友達、新しい時間の使い方、などたくさんの楽しさが待っています。

3月には、それぞれのお子さんが「自立」し、「協働」し、「創造」に向かっているか、親の目でも確認してみましょう。3月の「旅立ちの日」には一人一人が胸を張り、自信をもって次の学年に足を踏み出せるよう、一緒に応援していきたいと思えます。